

古文書解読にチャレンジ！ その13 解答

【筆耕】

乍恐以書付奉願上候

多摩郡廻り田村名主・年寄・百姓代奉申上候、

当村貯稗置穀之儀、石数相嵩俵ニ致し

名主方ニ預り置候、然ル処右俵数大切ニ致置候得共、

鼠喰等ニ而減石茂可仕哉与安心不仕難儀至極

奉存候間、村方ニ而石櫃拵右稗入置度奉存

候、何卒御慈悲を以右之段御聞濟被成下

置候様奉願上候、以上

多摩郡

廻り田村

文化元子年十一月

名主 九兵衛

年寄 新右衛門

百姓代 浅右衛門

伊奈友之助様

御役所

【読み下し】（筆耕を読み言葉にしたもの）

恐れながら書付を以て願ひ上げ奉り候

多摩郡廻り田村名主・年寄・百姓代申し上げ奉り候、

当村貯稗置穀の儀、石数相嵩俵に致し

名主方に預り置き候、然る処右俵数大切に致し置き候得共、

鼠喰等にて減石も仕るべき哉と安心仕らず難儀至極

存じ奉り候間、村方にて石櫃拵え右稗入れ置き度存じ奉り候、何卒御慈悲を以て右の段御聞き済み成し下され置き候様願ひ上げ奉り候、以上

多摩郡

廻り田村

文化元子年十一月

名主 九兵衛

年寄 新右衛門

百姓代 浅右衛門

伊奈友之助様

御役所

この文字に注目！

・「儀」 (三行目)



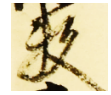
(五行目)



・「数」 (三行目)



(四行目)



・「置」 (三行目)



(四行目)



(八行目)



これらの字は古文書でも頻出します。筆の運びに注目し、字形を覚えましょう。